白山さん

第443号 令和7年7月1日

神道講話 天禄 あたわったもの

護衛艦かが特集 終戦八十年 平和を祈る

社頭あれこれ

平泉寺白山神社　三十三年に一度の御開帳

白山社めぐり

白山夏山登山について

コラム 自然を敬う ～山の日～・祭典・行事案内 他

展望丘「かがの風」 風になびく海上自衛隊の自衛艦旗

神道講話

天禄

あたわったもの

宮司　村山和臣

斎庭の稲穂の神勅（天照大御神が高天原で育てた稲穂を瓊瓊杵尊に与える様子）

はじめに

人が生まれてから死ぬまでにどれだけの命ある食べ物を天の恵みとして与えられ、私たちは生かされていることを忘れてはなりません。

天から頂いた一粒から何万倍もの収穫を得て、僅かなものでも大切にすることで、多くの利益を生み出します。

稲穂を刈り取る早乙女（抜穂祭）

人にとって生きるために「食」は必要不可欠なものでありますが、古くから日本人の食の中心であった「米」が、昨今では物価高の影響により、満足に供給されない事態になっています。

食物を作るには大地が必要であり、その大地は神道では神様が生んで下さったものと考えます。この大地の恵み・自然の恵みが無ければ人は生きていけません。

畳半畳

人は生を受けてから「生・老・病・死」、神様から等しくあたわったものにより生きています。生後は「乳」、「ミルク」を飲みますが、そこから既に神様からいただいているのであります。

どんな境遇であれ、人は起きて半畳、寝て一畳のスペースがあれば生きていけます。

身分の違いはあれど、必要以上のものを求めることはないようにしたいものであります。

「阿（あ）」「吽（ん）」とは、人が生まれた時、「オギャー」と息（生き）をいただき、逝去の時は「ん!!」といって息を飲み込みます。

その「あ」と「ん」の間が神様からももらった命であり「生」のいとなみであります。

狛犬にしても、仁王門の仁王様にしても、人の一生を現しています。

重文（旧国宝）木造狛犬（鎌倉時代）右：阿　左：吽

いのちを継ぐもの

米を始め野菜などの食糧、魚や肉などは「命の連鎖」であります。植物は光合成をして、花や実をつけます。そしてそれらを食べるのが昆虫や動物、さらにそれらを食べるのが哺乳類・人間であります。

そして死んだ生物は微生物によって分解され大地の栄養分となり、植物の生育の支えとなります。

食べ物をいただくことは、命をいただくことであります。食事の前には「いただきます」というように、いただいた命に感謝を捧げ、命を継いで生きていくのであります。

加賀野菜

自然もあたわったもの

命ある全ての生き物には、限りある命と生かされる命があります。人の一生も神様から頂いた限りある命の中で生かされます。一生のうちに神様からいただけるものが決まっているとしたらどうでしょう。長く生きる人は、それだけ神様から与えられているということになります。

そして、太陽（日の光）・雨・風・空気など全てのものは、神様からあたわったものであり、人の命に繋がってくるものであります。更に言えば、仕事も同様であり、与えられた仕事を自分で全うできるか、納得ができる仕事か、それは世の為人の為にできているのか、考えて生きていかなければなりません。

むすび

人は生まれるときに鎮守様から命をもらい、先ず息を吸い、産声を発し、亡くなる時は、最後に息を引きとるのであります。

氏神様、鎮守様からいただいた命を大切に、世の為に力を尽くし、修理固成、理性のある世の中を皆で造りましょう。

どれにしようかな♪　神様の言う通り♪

鎮守の森に囲まれた表参道

参拝者の憩いの場　展望丘「かがの風」

祈 護衛艦かが特集

「終戦八十年 平和を祈る」

展望丘（てんぼうのおか）「かがの風」竣工

六月四日、手取川を見渡せる参拝者の憩いの場、展望丘「かがの風」竣工清祓祭が斎行されました。

展望丘「かがの風」のコンセプトの元になったのは、今上陛下が詠まれた歌「岩かげに　したたり落つる　山の水　大河となりて　野を流れゆく」であります。

霊峰白山から流れでる清らかな水は、手取川という大きな河を形成し、加賀平野をうるおし、私たちの営みを支えてくださっています。この白山比咩神社を中心とする地形は、世界ジオパークの新スポットとして期待するところであります。

この場所にはカタクリやツツジ・アジサイなどの植物を植え、鳥のさえずりや、手取川のせせらぎを楽しめます。また、眺めが良好で風通しも良いことから**展望丘「かがの風」**と名付け、世界の平和を祈念する憩いの場になってほしいと思います。

六月八日に地元ボランティアガイド「ようござった」の方々が、ボランティアでカタクリなどの球根を植えて頂きました。来年の春には、多くの山野草が美しい花を咲かせ、境内を彩ってくれます。

カタクリの球根を植える「加賀白山ようござった」の方々

現地での清祓

終戦八十年航空母艦「加賀」慰霊祭 並 護衛艦「かが」航行安全祈願祭・式典斎行

六月五日午前十時、護衛艦かが就役記念石碑前にて、護衛艦かが初代艦長遠藤昭彦氏をはじめ約五十名参列のもと、終戦八十年航空母艦「加賀」慰霊祭 並 護衛艦「かが」航行安全祈願祭が斎行されました。

祭典では冒頭に、ラッパで奏でる「君が代」に合わせての海上自衛隊の自衛艦旗の掲揚から始まり、茶道裏千家高來宗吾教授による献茶の儀・斎主祝詞奏上・舞女による浦安の舞が奉奏されました。また、石川護國神社宮司葛城健一郎氏他の玉串拝礼が行なわれ、慰霊と航行の安全、世界の平和を共々に祈りました。

祭典後午前十一時より、終戦八十年慰霊式典が開式されました。式典に先立ち、皇国の為に尊い命を捧げられた御英霊への哀悼の意を込め、黙祷を行いました。

式典の主催である護衛艦かが友和会髙桑邦夫会長の挨拶に続き、石川県知事馳浩様からのメッセージを披露し、ご来賓として護衛艦かが初代艦長遠藤昭彦様、加賀市長宮元陸様よりご挨拶をいただきました。

式典の結びに、陸上自衛隊中央音楽隊鵜真衣さんによる「海ゆかば」を慰霊を込めて独唱致しました。

斎主の祝詞奏上

髙來教授による献茶の儀

自衛艦旗の掲揚

友和会髙桑会長による挨拶

遠藤初代艦長による挨拶

鵜さんによる「海ゆかば」独唱

鵜（つぐみ）真衣（まい）さん 慰霊と平和のコンサート

同日正午、展望丘「かがの風」に於いて、陸上自衛隊中央音楽隊の鵜真衣さんによる慰霊と平和のコンサートが行われました。

多くの方が見守る中、鵜さんは「里の秋」「椰子の実」「長崎の鐘」「レイオブウォーター」アンコール曲に「ふるさと」の全五曲を披露、世界の平和と、慰霊の念を込めて歌声を響かせました。曲の合間には、平和の尊さ、戦争で亡くなった方々の命のもとに、今の平和があることを語られました。

神楽「浦安の舞」奉奏

歌声に聞き入る参拝者

御製碑の前で歌う鵜さん

社頭あれこれ

①白山本宮「例大祭」厳粛に斎行
「こどもの日」鵜真衣さん 平和を祈るコンサート開催

五月六日、年に一度の重儀「例大祭」が斎行されました。

献幣使として石川県神社庁長河崎正幸氏にご参向を賜り、総代会長中村健一氏をはじめ県内外から約一〇〇名のご参列を頂きました。

祭典では、菅原道真公ゆかりの特殊神饌「梅枝糕（もち）」や「口型餅・舌型餅・寄餅」をはじめ海川山野の幸を神饌としてお供えしました。

斎主の祝詞奏上、献幣使の祭文奏上に続き、世界の安寧を願う「浦安の舞」が奉奏されました。

神賑行事として、前日の五月五日「こどもの日」には、「陸上自衛隊の歌姫」として知られる鵜真衣さん（石川県出身）によるコンサートが開催され、三〇〇名を超す方々が見守る中、「ふるさとの復興」「世界の子供たちの平和」を願い、となりのトトロの「さんぽ」をはじめ全六曲が披露されました。

浦安の舞 奉奏

海上自衛艦旗の前で歌う鵜真衣さん

②秋の稔りを願う 御田植祭斎行

五月十八日、白山町地内の当社奉耕田にて御田植祭が斎行されました。

今年は早乙女として地元の中学一年生、小学五・六年生の女子児童生徒ら十三名が、鮮やかな紅白の愛らしい装束をまとい奉仕しました。

水田に入り足をとられそうになりながら、太鼓の合図で早苗を天高く掲げ、心を込めてイセヒカリの苗を植え、秋の豊かな実りを祈りました。

この後の水田の管理は、田長の多田浩氏（白山町在住）に委託。秋に実ったイセヒカリを抜穂祭で収穫し、伊勢の神宮へ奉献すると共に、当社の新嘗祭でも御神前にお供えされます。

苗を天高く掲げる早乙女ら

③第七十一回崇敬者のつどい・加賀一ノ宮敬神婦人会五月総会 特別公演開催

五月二十七日、当社多目的施設の特設会場にて、崇敬者のつどい特別公演「今を生きる」が開催されました。

本年は台湾出身歌手の寒雲さんをお招きし、「日台友好」「能登半島地震復興」チャリティコンサートとして、全十三曲を披露して頂きました。寒雲さんは日本に来てからの苦悩や思い出を語り、来場者の心を引き付けました。

当日は全席指定で約三〇〇名の参加となり、当社インスタグラムでもライブ配信を行うなど、多くの方に拝聴戴くことができました。

会場にはチャリティとして義援金箱を設置する他、寒雲さんのCDを販売し、その売上全額を合わせ、総額「一四五、四四七円」を能登半島地震被災地への義援金とさせていただきました。

能登半島地震や、先の東日本大震災でも、台湾から多額の義援金や救援物資が日本に提供され、緊急援助隊の派遣など、いち早く手を差し伸べてくれた台湾の人々に深く感謝すると共に、互いに助け合っていける関係をこれからも続けていきたいものであります。

また公演終了後、幣拝殿にて約一〇〇名参列のもと、奉告祭が斎行され、その後崇敬者のつどい表彰式が執り行われました。

歌唱中来場者と握手を交わす寒雲さん

④台湾・林永申（リンヨンスン）さん参拝

六月六日、台湾から林永申さん一行らが遥々参拝に来られました。林さんは昭和五十七に、現在の幣殿・拝殿の新増改築工事を行う際、材料である「台湾檜」の買い付け先として協力いただいた方です。林さんは初めて四十年越しに参拝され、感激されていました。当時に奉納いただいた「台湾檜の巨木の根」は今も大切に保管されています。

昭和57年にご自身が奉納された台湾檜の根（林さんご夫妻）

集合写真

⑤御贊講大祭斎行　出張輪島朝市開催

六月七日、石川県漁業協同組合小松支所運営委員長森田博正氏を献幣使としてお迎えし、県内外各地の漁業や水産卸業、鮮魚店の関係者ら約一〇〇名の参列のもと厳粛に斎行され、海の恵みへの感謝と、海上安全・大漁満足を祈りました。

神前には、県漁協の各支所の大鯛や若布が供えられ、宮司の祝詞奏上に続き、献幣使祭文の奏上、神楽「大漁神楽」が奉奏されました。

また、恒例により県漁協美川支所有志による祝い唄「御酒（ごしゅ）」を大神様に奉納いただきました。

また御贊講大祭に併せ、六月七日・八日の二日間、当社多目的施設に於いて、「出張輪島朝市」が開催されました。

白山さんでは昨年に引き続き二回目の開催となり、大変な被害を受けた輪島朝市を応援しようと大勢の方がご来場いただきました。

会場では海産物や串焼き・輪島塗などが販売された他、七日には和太鼓奏者の成田千恵子さんのグループ「菊理」と能登半島地震にて被災した珠洲市の羽黒神社高山哲典宮司による太鼓と笛の共演、八日には、和太鼓グループの「サスケ」と「響架」の演奏を行うなど、輪島朝市を盛り上げました。

大漁神楽

賑わう出張輪島朝市

平泉寺白山神社　三十三年に一度の御開帳

五月二十三日から三日間、福井県勝山市に鎮座する平泉寺白山神社では、三十三年に一度「御神像」を公開する「御開帳」が行われました。

平成四年以来三十三年ぶりに姿を現した御神像を一目見ようと初日から約七万人の参拝者が訪れました。

また、初日の平泉寺白山神社三十三年式年大祭開扉祭に於いて、当社の舞女二名が拝殿にて浦安の舞を奉奏しました。

浦安の舞奉奏

同月二十四日、当社氏子崇敬者総代会の研修旅行が河原責任役員以下二十二名の参列のもと、平泉寺白山神社に参拝し、白山の女神「御神像」を拝しました。

参加者一同は貴重な体験と、地元の氏子が三十三年後にも美しい境内と歴史を受け継いでいこうという思いに感銘を受けました。

集合写真（総代会研修旅行）

白山社めぐり(192)

徳丸白山神社

鎮座地　白山市徳丸町二七九
御祭神　菊理比咩命　豊受比咩神　伊弉那岐命　伊弉那美命　菅原道真公
例祭日　十月第二日曜日
宮　司　柏木啓介

由緒

文武天皇の御代、大宝二年（西暦七〇二年）当時白山比咩神社の鎮座する舟岡山から、白き霊鳥が飛来して三日の間、この地に留まったといいます。村民は、この霊鳥が神霊であると考え、白山比咩神社にお願いし、御分霊をお受けして霊鳥の留まるところに鎮斎した事が、当神社の起源であると伝えられています。また、その頃、この地に眼病が流行した際、宮守の夢に観音が顕れ薬法を授けました。その薬にて病も平癒したことから、眼病の神として庶民の信仰ありとされています。

古くは白山社と称しましたが、明治六年に村社に列格し、同八年に徳丸白山神社と改称しました。境内に白鳥社、菅原社がありましたが明治四十一年に合祀し、昭和二十三年には徳丸神田（新徳丸）にあった菅原社を合祀しています。

当神社は田んぼの真ん中に鎮座しており、先の霊鳥が留まったといういわれも得心がいく風景であります。毎月十七日には、月次祭を執り行っており、総代を始め氏子の方が多く参拝しています。

田んぼの中央に鎮座する徳丸白山神社

白山夏山登山について

夏山物資の空輸も無事終えて、いよいよ令和７年の夏山のシーズンが始まりました。
昨今のインバウンドの影響により、白山には国内外から多くの登山客が訪れると予想されます。
白山室堂センターでは安心安全な登山が出来るよう、登山道の安全確保や食事、宿泊の提供、トイレの管理などしっかりと準備をしております。
白山の雄大な自然を満喫し、楽しい白山登山をして頂く為に、それぞれがマナーを守ることを心がけましょう。

登山にあたって

登山は自己責任です。山の天気は変わりやすく悪天候の場合は大変危険です。
もし、天候が登山に不向きであるならば、とりやめにする決断も必要です。

登山マナー

- 登山道をはずれてお花畑に入らないでください。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 動植物などの採集は絶対にしてはいけません。
- 山の水を汚さないでください。
- 十分な装備とゆとりある計画で登山をしてください。
- 登山届は必ず提出してください。
- **頂上道（室堂～頂上）は特に道をはずれないこと。**

白山夏山登山情報サイト

白山比咩神社HP　白山ベストガイドHP　石川県HP　白山市HP

登山便利アプリ

YAMAP
電波が届かなくても
現在地が分かるアプリ

白山登山バス運行・白山山頂郵便局開設について

本年も白山登山バス・シャトルバスが運行されます。
今年から運賃が改定されていますのでご注意ください。
運行会社の㈱マップは、松任駅と白山登山口の市ノ瀬、別当出合を結ぶ区間を運行します。
シャトルバス運行期間は、７月５日（夏山シーズン）より１０月１４日（秋山シーズン）まで運行予定です。
尚、松任便の運行は９月２９日までの運行予定です。
運行状況は、天候によって運休または運行見合わせとなりますので「マップＨＰ」にて最新の情報を確認ください。
マップＨＰには、「運行日カレンダー」「時刻・運賃表」など詳しく記載してあります。

また北陸鉄道㈱は、金沢駅と市ノ瀬を結ぶ急行バスも運行しています。、詳細は「北陸鉄道ＨＰ」を確認ください。
白山室堂センターの山頂郵便局も、７月１５日から８月２０日まで開設予定です。

株式会社マップHP　北陸鉄道株式会社HP　郵便局HP

通行止め情報

冬期閉鎖中の岐阜県側の白山公園線が、大雪により道路施設等が損壊したことにより、当面の間、通行止めとなっていますのでお気を付けください。

【期間】令和７年６月６日より当面の間
【場所】岐阜県道 451 号線　大野郡白川村大字白川村平瀬～大白川間

祭典と行事のご案内

7月

1日	午前8時	白山夏山開山祭（奥宮）
2日	午前10時	除蝗祭
5日	午前11時	開花祭
18日	午前8時	白山奥宮大祭（奥宮）

毎月

おついたちまいり　午前4時半より祈祷奉仕
1日・15日　午前10時　月次祭
15日　交通安全祈願祭

8月

14日	午前9時半	第41回夏まつり奉納弓道大会
	夕刻	夏まつり奉納輪おどり大会
15日	午前10時	夏まつり白山水系水利感謝祭
	午後2時	白山衆徒並諸霊鎮魂慰霊祭
16日	午後8時半	第66回夏まつり奉納剣道大会
31日	午前8時	白山夏山閉山祭（奥宮）

◆祝祭日には国旗を掲げましょう
7月18日（海の日）／8月11日（山の日）

白山茶会のご案内

無料

■奉仕日：7月6日　金沢大学茶道部（金沢市角間町）
8月3日　鶴来中学校茶道部（白山市鶴来本町）
■時　間：午前10時から午後2時まで
■場　所：遊神殿ロビー

コラム　自然を敬う ～山の日～

8月11は祝日の「山の日」です。山の日は平成28年から設けられた最も新しい国民の祝日になります。
日本の国土の大半が山であり、私たちは日々多くの山の恩恵を受けて生活しています。大自然の山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝することを目的として山の日は祝日とされました。
山の日が国民の祝日になる以前から、既に山の日を制定していた地方自治体もあり、山の日が8月11日なのは、八が山の形に見え、十一（11）は木が立ち並ぶイメージがあるからというのは後付けのようで、お盆の連休（8月13日～15日）に重ねる為に12日という案がありましたが、諸事情により、1日早めて8月11日になったようです。
私たちが普段何気なく飲んでいる水も、当たり前に吸っている空気も全て山の恵みであり、生きるために必要不可欠なものであります。山の雄大な自然はとても美しく、山頂から見る景色は絶景であります。しかし、山がもたらすものは良いことばかりではありません。自然災害や遭難・熊やカモシカなどの動物の被害など山に対しての恐れを決して忘れてはなりません。
山の日に山の恩恵に感謝し、山についてじっくりと考えてみてはいかがでしょうか。

山頂で御来光に向かい万歳する登拝者

七夕のご案内

今年も境内に笹飾りを設置します。
短冊に願いを込めて、
家族の幸せを祈りましょう。

設置期間
7月1日～7日（新暦）
8月23日～29日（旧暦）

編集後記

▼今年も白山夏山の開山を迎え、私たち神職も交代で奥宮祈祷殿に常駐し、山勤務にあたっているところであります。
▼白山の室堂平には室堂センターがあり、登山者の宿泊や食事の他、売店で飲み物やお菓子、カップ麺などを販売していますが、白山では自分で出したゴミは各自で持ち帰るようにお願いしています。白山がいつまでも綺麗な山である為には、一人一人の意識・協力が必要不可欠であります。
▼この夏はぜひ、白山の素晴らしい自然を肌で感じ取りましょう。
（拳）

白山さん　第443号
令和7年7月1日発行
発行所 ■白山本宮 加賀一ノ宮 白山比咩神社
〒920-2114　石川県白山市三宮町
TEL (076)272-0680(代)
FAX (076)273-0933
編　集 ■藤基 拳志郎
印　刷 ■高桑美術印刷株式会社
E-mail
hakusan@shirayama.or.jp
HP
https://www.shirayama.or.jp